

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA2	科名 ファッション高度専門士科2年	単位 2単位
科目コード	科目名 ファッションデザイン画Ⅱ	授業期間 ( 通年 )

担当教員(代表) : 岡本あづさ	共同担当者 :
---------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

独自の発想力、デザインイメージをいかに的確に具体的に表現していくかを考える。様々な発想の手法を探り、試し、チャレンジして行きながら新たなデザインの可能性を考えていく。デザインの表現テクニックを教科し、独自の表現方法を研究していく。

## 【授業計画】

I.・オリエンテーション (2コマ) まるいものからのデザイン展開」	・同一テーマである1つの立体を様々な角度から捉えることで可能性を生み出しデザイン展開を広げていく
II.ポーズ (2コマ)	・描きづらいと感じるポーズの表現を習得し、デザイン画表現の可能性を広げる
III.コンテスト① (1コマ)	・ナゴヤファッションコンテスト
IV.縫製テクニック (5コマ)	・様々な縫製テクニックから1種選択し更にアイデアソースをプラスし新たなデザインの可能性を探る
V.アイテムデザイン (製品図) (4コマ)	・シーズンを選択しデザインの提案をする重要性を意識。アイテムについて調べ意識しアイデアソースと合わせデザイン展開を考える
VI.日本伝統工芸からのデザイン展開 (5コマ)	・服以外の工芸の要素に目を向けて、調べ、研究したことで感じ取ったテイストをデザインへ取り入れていく
VII.修了製作 (6コマ)	・校内ファッション画展 ・各自のデザインテーマからデザイン展開を考え表現する
VIII.修了制作デザイン画制作	・各自が実際に製作する修了製作のデザイン画を改めて素材などを意識してデザイン画として感んせいさせる

## 【評価方法】

評価基準: 学業評価70%、授業姿勢20%、出席状況10%

主要教材図書	
参考図書	各分野での展示カタログやアーティストの作品集、ファッション誌、雑誌等。
その他資料	卒業生の参考作品など YouTube 動画 (デザイン画テクニック)
授業の特徴と担当教員紹介	
授業の特徴	デザインの基礎となる、人体のプロポーションをしっかりと把握しデザイン、デザインディテールなど、イメージするものを的確に表現する
担当教員紹介	学院卒業後デザイン画講師として活動。(文化服装学院 / 文化学園大学) その他ファッションイラストの仕事を手 個展も開催 2017 年にはファッションイラストとして初めてイラストが日本郵局から切手が発売された 2020 年から「ファッションドローイング」の YouTube チャンネル ADUSA's design drawing technique をスタートさせる

記載者氏名 岡本あづさ

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA2	科名 ファッション高度専門士科2年	単位 1単位
科目コード	科目名 色彩計画	授業期間 (後期)

担当教員(代表) : 落合里美

共同担当者 :

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

1年次の服飾デザイン論Ⅰで学んだ色彩の知識をベースに、カラーカードを使った演習課題や作品作りを通してファッション業界で必要な応用配色、色彩によるイメージ表現の方法を身に着け、最終的には、それらを応用した色彩計画の考え方を学習していく。

## 【授業計画】

### 1. ファッション産業と色彩 (講義 1コマ)

- ・ファッション産業における色彩の役割
- ・流行色

### 2. 色彩構成 (講義・演習 1コマ)

- ・基調色と配合色
- ・アクセントカラー セパレーションカラー グラデーション

### 3. ファッションカラーコーディネーション (講義・演習・課題制作 4コマ)

- ・トーン・オン・トーン配色
- ・トーン・イン・トーン配色 / トナル配色
- ・カマイユ配色 / フォ・カマイユ配色
- ・コンプレックスハーモニー
- ・その他の応用配色  
(ドミナント配色 / コントラスト配色 / マルチカラー配色 / ピコロール / トリコロール)

### 4. イメージと色彩 (講義・演習・課題制作 4コマ)

- ・ファッションイメージと色彩
- ・色の連想・象徴
- ・イメージ構築と色彩表現

### 5. 色彩計画 (講義・演習・課題制作 5コマ)

- ・コンセプト / テーマの設定
- ・イメージ構築
- ・カラーパレットの展開
- ・カラーバリエーションの展開
- ・プレゼン技法

## 【評価方法】

S~C・F評価 評価基準: 学業評価 70% 授業姿勢 30%

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座②『服飾デザイン』文化服装学院編 (文化出版局)

参考図書 なし

その他資料 ベーシックカラー140 B5版 カラーチャート

## 授業の特徴と担当教員紹介

文化服装学院非常勤講師

カラーコーディネーターとしてのキャリアを活かし、実習を通して、ファッション業界の現場で実際に活用できる知識と技術を習得するための授業を実施。

記載者氏名 落合里美

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA2	科名 ファッション高度専門士科 2年	単位	単位
科目コード	科目名 ファッションマーケティング	授業期間	( )

担当教員（代表）：丹羽一友

共同担当者：

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

マーケティングの基礎を学び市場の細分化とその特徴を理解しファッションビジネスへの応用、活用を具体的に実行する方法を学ぶ。戦略立案から商品企画までを行い最終的に企画プロジェクトのプレゼンテーションを行い、即戦力としての知識、経験を身につける。

## 【授業計画】前期（各 1 コマ）

- ①マーケティングの基礎知識（概論）：目的、方法”  
一般論としてのマーケティングとは何か、マーケティングのプロセスを理解する
- ②ファッションビジネスにおける「実践マーケティング」  
マーケティング手法を具体的にファッションビジネスに落とし込む方法を理解する
- ③「消費者行動」と「ファッション表現」  
マーケティングの対象者である顧客のファッションにおいての消費行動を理解する
- ④ファッション業界を取り巻く現状：統計データより”  
現状のファッションビジネスのおかれている状況を具体的な数字データをもとに理解する
- ⑤国内流通の現状について：川上～川下（企業別データ）  
国内のファッションビジネスのサプライチェーンの基本と変化を理解する
- ⑥国内小売業について  
国内の顧客との接点である小売業の種類、詳細を理解する
- ⑦プランディングについて  
「ブランド」の意味と構築の方法、維持までを理解する
- ⑧ブランドコンセプトとは何か  
「ブランドコンセプト」の意味と役割の重要性について理解する
- ⑨戦略、プランディングの実施  
リサーチ結果から戦略を立て、プランディングを行う具体的な方法を理解する
- ⑩情報収集とリサーチ  
マーケットの流れ、ライフスタイルなどの仮説を立て検証し戦略立案を行う方法を理解する
- ⑪リサーチ発表  
仮説とリサーチ結果を分析、考察、修正を実際に行いプレゼンテーションを行う（ツールの作成）
- ⑫マーチャンダイジング及びプロモーション  
リサーチ結果をもとに具体的に商品のマーチャンダイジングの組み立て方法を理解する
- ⑬マーチャンダイジング実施  
商品企画の実施
- ⑭マーチャンダイジング発表  
実際に立案したマーチャンダイジングの計画のプレゼンテーションの方法を理解する
- ⑮自由研究合同プレゼンテーション  
立案したブランドのマーチャンダイジングの実践とプレゼンテーション

## 【評価方法】

プレゼンテーション

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介：企業にてマーケティング、生産管理、営業統括を経て、会社経営に携わる。  
現場の経験を活かし指導する。

記載者氏名

## 2025年度 カリキュラム科目

文化服装学院教務部

科コド	科名 ファッション高度専門士科 2年	単位	2単位
科目コド	科目名 コンピュータグラフィック II	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 加藤 正人

共同担当者 :

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパソコンコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着けると同時に、各自のデザイン能力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。デジタルファッション画、コラージュ画像、テキスタイル図案の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。

## 【授業計画】

- (1)オリエンテーション(0.5 コマ)
  - ・ファッショングラフィック概論、説明等
- (2)Adobe Photoshop の基本操作の確認(0.5 コマ)
  - ・Photoshop、ペイントソフト基礎の確認
- (3)Adobe Illustrator の基本描画(5 コマ)
  - ・Illustrator、ドローソフト基礎知識の確認
  - ・ペンツールでの線と形状の描画
  - ・アンカーポイント、パス、ハンドル、ベジェ曲線の操作
- (4)デジタルファッション画の製作 下絵取り込み～修正～着色～完成(6 コマ)
  - ・Photoshop によるファッショントレイン画の製作
  - ・下絵のスキャニング
  - ・下絵の修正
  - ・着色、陰影、立体感の表現
  - ・カラー、素材等のバリエーション製作
  - ・レイアウト、まとめ
- (5)衣服製品図の制作(8 コマ)
  - ・衣服製品図の役割
  - ・Illustrator による衣服製品図の描き方
  - ・各アイテムごとの製品図の製作  
Tシャツ、スカート、ブルゾン、他
  - ・ディテール表現
  - ・カラーバリエーション
  - ・デザインバリエーション
- (6)コラージュ画像の製作(4 コマ)
  - ・Photoshop によるコラージュの手法とプロセスの解説
  - ・画像の切り抜き、合成、加工、編集
  - ・AI 画像生成の活用(Adobe Firefly)
  - ・レイアウト、まとめ
- (7)テキスタイルグラフィックの製作(4 コマ)
  - ・Illustrator によるテキスタイル柄、パターンの製作(基礎)
  - ・Photoshop によるテキスタイル柄、パターンの製作(基礎)
- (8)デザイン企画ボードの製作(2 コマ)
  - ・デザイン企画のプロセス
  - ・各課題をデザイン企画ボードにまとめる

## 使用ソフト

- ・Adobe Photoshop
- ・Adobe Illustrator

## 【評価方法】

- ・提出課題
- ・出席率

主要教材図書・なし

参考図書・なし

その他資料・課題別各種プリント、作例

## 授業の特徴と担当教員紹介

アパレル会社にてグラフィックデザイナーとして勤務後、フリーランスとして活動。  
ファッションブランド、ショップ等のグラフィック、イラスト製作を手がける。  
デジタルデバイス、グラフィックソフトによるファッショングラフィックの実践授業を実施。

記載者氏名 加藤正人

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 ファッション高度専門士科	単位	1 単位
科目コード	科目名 アパレル品質論	授業期間	後期

担当教員(代表) : 田村亜由美

共同担当者 :

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

テキスタイルやアパレルの品質評価試験、品質基準、洗濯などの取り扱い方法や製品の品質表示、関連する法規制や規格等について講義、演習、実習を通して学び、法律や規格を遵守した上で、実用性能、要求品質を満たしたアパレルの企画、製造、販売ができる目的とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 関連する表示の法律 ・アパレルの品質管理について	講義	2コマ
・品質表示について		
2. アパレルの取り扱い・洗濯 ・洗濯方法の種類と特徴	講義 演習	5コマ
・特殊クリーニングについて		
・耐薬品性・しみ抜き方法の理解		
・しみ抜き実習		
・保管について、子供服の安全規格について		
3. 関連する法律や規制について ・安全性に関する法律規制	講義	1コマ
4. 品質評価試験 ・品質評価試験について	講義 実習	3コマ
・染色堅ろう性について(染色堅ろう度試験)		
・形態安定性、寸法変化率について		
5. アパレルに関する表示の法律 ・表示法とポリウレタンの素材特性	講義	1コマ
6. アパレルの保証とクレーム ・アパレルの保証とクレーム事例	講義	1コマ
7. クリーニング工場見学	見学・発表	2コマ
	計	15コマ

【評価方法】学業評価:80% 授業姿勢20%

主要教材図書 主要教材図書 ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座①「アパレル品質論」文化出版局

参考図書

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴: 講義とともに実習やデモンストレーションを取り入れ、品質管理を学習する。

担当教員紹介: 文化女子大学(現文化学園大学)卒業、職歴 都内百貨店の品質管理、公的検査機関

記載者氏名 田村亜由美

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KA3	科名	ファッション高度専門士3年	1組2組	単位	1 単位
科目コード		科目名	CADパターンメイキングⅡ		授業期間	後期

担当教員(代表) : 高津 由規子	共同担当者 :
-------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業において工業化された設計・生産・製造のプロセスを認識し、生産技術の1分野である設計に活用される『アパレルCAD』システムを利用して、工業生産設計の流れと設計の考え方・手法・方法の理解を深め、設計システムの構造とその管理と仕組み迄の内容を行う

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先			
テーマ	方法	コマ数	
オリエンテーション・基本操作・復習 ダーツ操作	演習	1	
応用パターンメイキングVer. 1-1 スカート 製図	演習	1	
応用パターンメイキングVer. 1-2 台衿シャツカラー	演習	1	
応用パターンメイキングVer. 1-3 袖山展開	演習	1	
応用パターンメイキングVer. 1-4 身頃	演習	1	
応用パターンメイキングVer. 2-1 スキヤナー・トレース 活用方法 ジャケット	演習	1	
応用パターンメイキングVer. 2-2 ジャケットパターン マーキング	演習	1	
応用パターンメイキングVer. 3 カットソー展開	演習	1	
応用パターンメイキングVer. 4 パターンチェック	演習	1	
応用パターンメイキングVer. 5 パンツ 製図 工業用パターン・課題作品	演習	3	
応用パターンメイキングVer. 6 コート 製図 工業用パターン・課題作品	演習	3	

## 【評価方法】S~C・F評価

評価基準 : 学業評価 50% 授業態度 50%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	プリント配布

## 授業の特徴と担当教員紹介

アパレルの現場で学んで来た事と日々変化しているアパレル業界の情報を取り入れながら、基礎を踏まえて応用パターンメイキングに対してもスムーズかつ対処方法を取り入れながら授業を進めています。

記載者氏名 高津 由規子

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA3	科名 ファッション高度専門士科 3年	単位 1単位
科目コード 609550	科目名 アパレル商品企画・演習	授業期間 後期

担当教員(代表) : 鬼澤 �瑛菜	共同担当者 : 西野岳人
-------------------	--------------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション業界における、企画デザイナー、デザイナーブランドのどちらにも対応出来るよう、ブランド設定、ターゲット分析、オリジナルデザインによるサンプル制作を通して、商品としての企画を学ぶ。また生産管理や工場への注文など細部に渡り、企業で行われている仕事の内容や方法を理解する。

## 【授業計画】

### オリエンテーション (2コマ)

課題説明 ブランド立ち上げやビジネスについて。コレクションブランドとしての活動内容。

市場、トレンド調査分析 デザイン検討 打ち合わせ

- 商品を企画するうえでかかる人材を絡めてディスカッション  
工場、パタンナー、商社、図案師、PR、スタイリスト、バイヤー、テキスタイル産地
- ブランド企画・商品企画
- ターゲット、ペルソナシート、素材確認 縫製方法、付属 (ファスナー、ボタン、テープ、紐等)  
アイテム限定デザインアドバイス
- ブランド店舗企画、展示企画  
それぞれのLook総合点検 ブランドとして全体の統一が出来ているのか点検。  
商品としての企画に対応しているのかアドバイス
- 実習、制作
- 最終商品 プレゼンテーション  
各商品解説 各ブランド設定に応じて講評、採点  
企業デザイナーの仕事内容についてのまとめ。  
就職や将来の希望職種などのアドバイス

## 【評価方法】

出席、課題提出状況	10%	
プレゼンテーション、課題内容	90%	英字評価

## 授業の特徴と担当教員紹介

本学院卒業コレクションブランド5knotデザイナー。企業ブランドなども経験。

アパレル企業における商品企画・デザイナーとしての経験をもとに、ファッション業界における企画デザイナー、デザイナーブランドのどちらにも対応できる商品企画、生産工場への発注など、企業で行われている仕事の内容や方法を実践的に学ぶ

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

記載者氏名 鬼澤 瑛菜

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA4	科名 ファッション高度専門士科 4年	単位	2 単位
科目コード	科目名 アパレル染色演習Ⅲ	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 真田玲子	共同担当者 : 増田美砂希
-----------------	---------------

概要(教育目標・レベル設定など 200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アパレルデザインを行う上 重要である素材の染色加工に関する専門知識を養う。

理論・技法・工程など実技を通し習得する。 時代に沿った 各種表現方法を分析し構成する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ガイダンス 授業内容 課題説明	16	サンプル制作や アパレル用素材の準備
2	テキスタイル商品 参考作品の紹介	17	卒業制作コンテスト等の素材作り
3	シルクスクリーン(製版)	18	//
4	//	19	習得した技法を駆使、目的に沿った生地を制作
5	シルクスクリーン印捺にて箔・フロック・発泡加工	20	//
6	//	21	作業工程を見直し 必要量の生地を制作する
7	布地の造形要素の理解オパール加工実験 セルロース編	22	//
8	//	23	//
9	布地の造形要素の理解オパール加工実験 アルミ溶解	24	//
10	//	25	//
11	織編み以外の面、生地の構成を考察 フリーレース	26	//
12	//	27	染色加工工程 製品図などファイリング・
13	藍染加工 手描き スクリーンプリント	28	作品発表
14	//	29	
15	オリジナルテキスタイル 企画制作 デザインワーク	30	

評価方法…

①試験0% ②課題提出70%③授業姿勢10%④出席20%⑤その他0%による総合評価

主要教材図書

参考図書

その他資料 各種技法の作業工程 レシピ配布

授業の特徴と担当教員紹介

真田玲子 企業におけるテキスタイルデザイナーの経験をもとに繊維素材の実用性、アパレルデザインにおける必要な図案や素材との調和など染色加工の企画制作を指導。

記載者氏名 真田玲子

# 2025度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

学科コード KA4	科名 ファッション高度専門士科①4-1, 2, ②3組	単位 1	単位
科目コード	科目名 生産管理論・製品企画(選択)	授業期間	前期

担当教員(代表)：副島 恵

共同担当者：

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業概要>製品(商品)企画・生産に必要な知識やルールを学習し、書式で理解し、サンプル作成を実践する。

到達目標>グループ内でよくコミュニケーションし企画をまとめる事。実際に中国工場にサンプル依頼する事。

レベル設定>販売可能なレベルの指示ができ、製品(商品)サンプルが指示通り上がってくること。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	内容	日程①	日程②
① オリエンテーション(PLAN)	講義・実務	1	前期の全体像の説明と MD PLAN について	4/8	4/10
② ブランディング(MD論)	講義・実務	1	解説後実際にグループに分かれて実務	4/15	4/17
③ SALES 会議(価格と数量)	講義・実務	1	解説後実際に分析し座標に落とし込む	4/22	4/24
④ DESIGN 会議(デザインとは?)	講義・実務	1	解説後実務・名刺デザイン・MAP・絵型	5/13	5/15
⑤ 生産会議(生産管理論4大素)	講義・実務	1	講義後・洗濯ラベル・パターン注意点	5/20	5/22
⑥ 素材論・トワルチェックについて	講義・実務	1	アイテム素材を仮選定・パターンチェック	5/27	5/27
品質・原宿カケン訪問	企業訪問		公的検査機関訪問・試験場訪問	5/29	5/29
⑦ 素材メーカー訪問	企業訪問	1	実際に素材メーカー訪問・生地選定商談	6/3	6/3
トワルチェック	講義・実務		トワルチェック	6/5	6/5
⑧ 仕様書・付属表・洗濯ラベル	講義・実務	1	仕様書の完成度について・トワル反映	6/10	6/12
⑨ 1 <sup>st</sup> サンプル依頼発送	講義・実務	1	メールでのやり取り・1 <sup>st</sup> 仕様書確認	6/17	6/19
⑩ 工場とのコミュニケーション	講義・実務	1	サンプル依頼の際の必要確認事項	6/24	6/26
⑪ 物流・販売注意事項・販路別物流費	講義・実務	1	売り方別国内物流費用の注意事項	7/1	7/3
⑫ 1 <sup>st</sup> サンプル UP・BULK 仕様書	講義・実務	1	サンプルの確認と BULK 仕様書注意事項	7/8	7/10
⑬ 納品前検品・Visual MD	講義・実務	1	最終商品の確認の際の注意事項	9/9	9/11
⑭ 販売シミュレーション	講義・実務	1	販売の際の注意事項	9/16	9/18
⑮ 商品プレゼンテーション	講義・発表	1	各グループ作成商品のブランド・商品説明	9/30	9/25

【評価方法】学業評価・商品完成度 50% (製品の企画から製造工程と生産管理に必要な事項が理解できたかどうか、サンプル完成度) 授業姿勢・グループ貢献 50% (出欠とチーム内でコミュニケーションして、自分の担当箇所が予定通りできたかどうか)

主要教材図書：オリジナルテキスト

参考図書：随時必要文献、必要 UP DATE 情報

その他資料：特許庁HP、校外授業予定、生地メーカー(フジサキテキスタイル)、検査機関(原宿カケン)

授業の特徴と担当教員紹介：PLAN+DO+ SEE+ GO (企画から実構築+確認+再構築+進行)  
：パタンナーからスタートし、生産、品質、生地、企画、MD、営業を経験。幅広くコンサルトする

記載者氏名：副島 恵 (9/MAY/ 2025)